



— 出かけよう! —
新緑の中へ

みんなの議会

甘酒原高原遊花里自然園（本宿地区）

第 77 号

2025.5.1

今号の Topics

みんなで進める町づくり

～令和7年度一般会計予算 P4





「耶馬溪しのぐ吾妻峡」と上毛かるたで詠まれる吾妻峡、今は「伊賀をもしのげ吾妻峡」でしょうか。昨年から道の駅あがつま峡は「真田忍者の世界に飛び込もう！」を合言葉に真田忍者をテーマにしたエキサイティングな道の駅になっています。その盛り上げの中心となっているのは「おもてなし忍者隊」。リーダー・MITSUさんに話を聞きました。

問 なぜ道の駅が忍者推しになったのですか。

MITSU 吾妻峡にある松谷・横谷地区には横谷城（雁ヶ沢城）という城がありましたが、架空のヒーロー忍者・猿飛佐助のモデルとなった吾妻忍者・横谷左近（よこや さこん）が城館を構えて守っていました。吾妻峡は国名勝でありながら、忍者が活躍した渓谷です。こんな特別な文化資源でおもてなしできたらお客様も喜ぶと思ったからです。

問 忍者隊はどんな特殊能力を持っていますか。

MITSU アクロバットが得意だったり、ノリノリにダンスしたり、子どもを楽しませたり、みんなとハイタッチしたり、元気だけあったり、いろいろな忍者がいます。どの忍者も笑顔が最大の特殊能力です。

問 どんなおもてなしをしているのですか。

MITSU 豪華景品も当たる手裏剣チャレンジ、お祭りの露店のようなお楽しみコーナー、忍者修行になる

忍者サーキットなど、ちびっ子とご家族連れに普段と違う体験を提供しています。

問 ワクワクする楽しそうな忍者ですね。

MITSU でも、私たちには、本当にこの渓谷にいた吾妻忍者の文化を伝える使命があります。できれば現代によみがえらせたいと思っています。だからエンタメだけでなく、真剣に忍者もやっています。吾妻真田忍者の末裔で全国で活躍する師範を講師に、1泊2日の忍者修行体験を開催しています。私たちもその師範に弟子入りして吾妻真田忍者の心技を修行しています。そんな私たちが講師を務める毎週土曜日開催の2時間の忍者修行体験も開催しています。

問 ただの遊びだけでなく、気合い入ってますね。

MITSU 吾妻峡、そして東吾妻町を忍者の本場、伊賀・甲賀にも負けない、世界が注目する忍者の聖地にするのが私たちの夢です。

問 最後に議会や町に力強い一言をお願いします。

MITSU 忍者でお客様をお迎えすると、みんな喜ぶし、私たちも本当に楽しいです。町も議会もこの喜びを共有できたら、世界でここだけの楽しい町ができるような気がします。特別なことはいいです。「大ばくちの始まりじゃ！」ってノリで、一緒に楽しみたいです。

みんなの声を
議会だより

「がんばっている人応援し隊」のコーナーでは、東吾妻町でがんばっている個人や団体を紹介します。このコーナーに登場してくれる個人や団体を募集します。自薦他薦は問いません。お近くの議会広報特別委員または議会事務局までお声がけください。

gikai@town.higashiagatsuma.gunma.jp

くらしが変わる！ ～令和7年度町の注目事業

① 乗りたいバスへ1歩前進！



③ 町公式LINE発足！



① 路線バス200円

～使用しやすい公共交通へ1歩前進～（2459万円）

①地域の魅力と交通結節点を活かすバスタ東吾妻（仮称）の基本計画②持続可能なバス路線再編への計画的推進③さかうえ拠点バス停の整備の3事業が盛り込まれたほか、バス料金の見直しが行われました。

② SNSで魅力UP

～町内魅力情報発信事業～（230万円）

中学生議会でも要望のあったSNSを利用し情報発信を行うものです。町の魅力を発信し、知名度をアップさせ来町者の増加につなげます。

② 中学生の意見が予算化！



④ 高齢者の見守り拡充！



③ LINE導入

～東吾妻町公式LINE事業～（157万円）

LINE公式アカウントの活用により、町民への情報提供が迅速かつ的確になり、防災対応力の向上が期待されます。また、公共施設の予約や通報機能の充実も図ります。

④ 自宅で安心な生活を

～緊急通報システム設置運営事業～（151万円）

対象者を拡大し、ひとり暮らし高齢者の見守りの充実を図ります。住み慣れた地域・自宅での安心安全な自立した生活へ向け支援を行います。

みんなで進める町づくり ～令和7年度一般会計予算 全会一致で可決

令和7年第1回定例会が、3月4日から18日までの15日間、役場庁舎3階の議会議場で開かれました。会期中、町長から提案された令和7年度一般会計当初予算ほか条例改正などの議案が審議され、いずれも原案どおり全会一致で可決されました。

町政一般質問には4人が登壇し町政をたしました（14ページをご覧ください）。

中澤恒喜町長による 予算編成方針

令和7年度の一般会計当初予算は、総額91億9500万円を計上、前年度比3.2%の増、金額にして2億8100万円の増額です。

限られた財源の中で既存事業の見直しを行い、新規事業についても、緊急性や必要性、費用対効果などを精査して経費節減と合理化を図り、予算編成を行いました。

令和7年度一般会計予算の詳細については、
広報ひがしあがつま令和7年5月号（2～3ページ）でご覧いただけます。



その他、重点事業については町ホームページに掲載予定です

重点事業



安定的な農業用水を

～小規模農村整備事業～
（3650万円）

平・大谷沢地区の用水路改修や、泉沢太郎谷戸地区での測量設計を行い、安定的な農業用水を確保していきます。また、岡崎地区の第3調整池が大地震の際、決壊しないよう防災工事を行うため、設計業務を委託するものです。



大阪・関西万博出展

～忍びの町ひがしあがつま推進事業～
（734万円）

真田氏ゆかりの吾妻真田忍者を観光資源とし、整備を行い推進していくものです。また、大阪・関西万博などに参加し、国内外に吾妻真田忍者を核に町のPR活動を行う予定です。



給食センター外部委託へ

～学校給食センター給食調理等業務委託～（2083万円）

給食センターの調理部門において、人員確保、管理運営を強化するとともに、安全でおいしい給食を提供するため、民間事業者へ業務委託を実施するものです。

令和7年度会計別予算一覧▶

国民健康保険特別会計は、事業勘定は前年度と比較して6.2%の減。施設勘定は0.1%の増となりました。今後、被保険者の減少が見込まれます。

後期高齢者医療特別会計は、2.8%の増。徴収保険料は、被保険者の増加により若干増えている状況です。

介護保険特別会計は、前年度と比較してほぼ同規模となりました。

地域開発事業特別会計は、岡崎地区の岩久保住宅団地が、造成宅地防災区域に指定され、盛土対策検討業務委託をするため、68.0%の大幅な増となりました。

下水道事業会計は、収益的収入および支出では、営業費用および営業外費用に充てるため、一般会計長期借入金は、4750万円となっています。

簡易水道事業会計は、前年度より営業外収益が増加、事業費用はやや減少しています。資本的収入と支出は減少していますが、上信自動車道工事に伴う送配水設備工事が大幅に減少したためです。

水道事業会計は、老朽化した石綿管の布設替え工事が、国の補助事業として実施できることとなりました。

会計別地方債残高一覧表▶

一般会計の地方債残高は5億8525万円の減となりました。

会計名	令和7年度	令和6年度	対前年比
一般会計	91億9500万円	89億1400万円	3.2%
国民健康保険特別会計(事業勘定)	14億5221万円	15億4774万円	▲6.2%
// (施設勘定)	6394万円	6388万円	0.1%
後期高齢者医療特別会計	2億6656万円	2億5920万円	2.8%
介護保険特別会計	18億6699万円	18億7291万円	▲0.3%
地域開発事業特別会計	1472万円	876万円	68.0%

下水道事業会計

項目	令和7年度	令和6年度	対前年比
下水道事業収益	3億7690万円	3億6711万円	2.7%
営業収益	1億7048万円	1億5539万円	9.7%
営業外収益	2億642万円	2億1171万円	▲2.5%
下水道事業費用	4億8720万円	4億8277万円	0.9%
営業費用	4億5177万円	4億4054万円	2.5%
営業外費用	3543万円	3903万円	▲9.2%
特別損失	0万円	319万円	皆減
資本的収入	2億7763万円	3億6531万円	▲24.0%
資本的支出	2億7682万円	3億4538万円	▲19.9%

簡易水道事業会計

項目	令和7年度	令和6年度	対前年比
簡易水道事業収益	1億514万円	9473万円	11.0%
営業収益	3841万円	3788万円	1.4%
営業外収益	6672万円	5685万円	17.4%
簡易水道事業費用	1億245万円	1億569万円	▲3.1%
営業費用	9346万円	9493万円	▲1.5%
営業外費用	397万円	427万円	▲7.0%
特別損失	1万円	148万円	▲99.3%
予備費	500万円	500万円	0.0%
資本的収入	2億900万円	3億1620万円	▲33.9%
資本的支出	1億9494万円	3億1523万円	▲38.2%

水道事業会計

項目	令和7年度	令和6年度	対前年比
水道事業収益	2億476万円	2億774万円	▲1.4%
営業収益	1億8110万円	1億8137万円	▲0.1%
営業外収益	2365万円	2637万円	▲10.3%
水道事業費用	2億1879万円	2億2217万円	▲1.5%
営業費用	1億9889万円	2億67万円	▲0.9%
営業外費用	1440万円	1580万円	▲8.8%
特別損失	50万円	70万円	▲28.4%
予備費	500万円	500万円	0.0%
資本的収入	3億2503万円	3億6989万円	▲12.1%
資本的支出	4億7559万円	4億7082万円	1.0%

（1万円未満は切り捨て）

予算決算特別委員会質疑 令和7年度一般会計予算



3月10日・11日の2日間、予算決算特別委員会が議場で開催されました。里見武男委員長の進行のもと、令和7年度一般会計予算の審査が行われ、活発な質疑が行われました。

質疑応答7時間04分、総質問数88個の中で、各委員が「最も核心に迫った質問はこれ!」と自ら選んだ内容を紹介します。

齋藤 貴史 委員

◆SNSで魅力発信に期待

問 今重点施策「町内魅力情報発信事業」は、SNSによる町の魅力発信ということだが、昨年の中学生議会でも声が大きかった課題。その提議を行った生徒が卒業する前に、早速、予算案に載せることができ、とても素晴らしい。期待している。インフルエンサーを起用すると数本の記事で

何十万円もかかる相場だが、年間200本の記事投稿見込みで200万円の予算。破格に安い。この予算でこの内容をこなせるのか。

まちづくり推進課長 事業者の参考見積もりにより予算を作成しているので、可



岩井親水公園

能であると考えます。

問 当町最大のイベント「すいせん祭り」は新年度始まってすぐにある。早々にスピード感を持ってスタートできるか。

まちづくり推進課長 新年度に入ってからしっかりとやっていければと考える。

その他の質疑

- ・公式LINE事業
- ・移住定住関係
- ・群馬原町駅南側まちづくり計画
- ・防災情報システム
- ・国県補助金の活用

増子 京子 委員

◆防災備品の購入は

問 防災費について、避難所における簡易ベット、簡易トイレの購入は令和7年度にも予定しているか。快適な避難所となるよう今後も対応をお願いしたい。

総務課長 令和6年中に簡易ベット100台、ユニットトイレ10台を購入済みである。

◆中央公民館の避難所利用は

問 繰越事業として引き続き耐震改修中の中央公民館は今後避難所として利用可能か。

社会教育課長 耐震改修後には避難所としての利用も可能となるよう計画したい。

◆学校図書入れ替えは

問 学校図書は子どもたちの成長のためにとても大切なものと認識している。魅力ある図書室となるよう予算を効果的に使い、積極的

な本の入れ替えはできているか。

学校教育課長 図書担当教諭が必要に応じて入れ替え作業を行っている。



子どもたちが本に親しむ環境を

渡 一美 委員

◆公式LINEアカウント

問 事業の内容は。

総務課長 公式LINE事業は住民にとって利便性が高く、使いやすいツールとなるように進めている。DX推進本部を中心に各課が連携し、若手職員の意見も取り入れながら、より良い情報発信を検討している。

◆事業規模の縮小は

問 総予算は約92億円だ

が、人口減少で、本来は事業規模を縮小すべき。無理に予算を使わず、事業執行率を下げた必要に応じて減額補正を行うべきではないか。

企画課長 義務的経費が多い中でも最小の経費で、最大の効果を上げるよう工夫し、効率予算を執行していく。

◆上下水道事業への貸付は

問 上下水道事業では一般会計から長期借入金として



上水道第一水源

貸し付けを行っており、借入金で借金を返しているような状況に見える。事業規模が膨らみ、支出も増加しているのは問題ではないか。

企画課長 ハード面の不要な部分は見直し、節約・効率化することが重要だと考える。

井上日出来委員

◆坂上小学校屋内運動場

設計事業(749万円)

問 本事業の前に保護者や地域住民への意向調査は実施したか。

学校教育課長 令和2年の学校施設等個別施設計画における「著しい劣化」というところを重視して判断した。聞き取り調査等は行っていない。

問 体育館の新設工事には



老朽化した坂上体育館

多額の予算が必要になると考えられる。坂上地区は過去12年間に地区人口は3分の1減少し、生徒数は半減した。はたして体育館新設が正しい選択であるのか、保護者や地域住民への意向

調査をすべきではないか。
学校教育課長 学校体育館と共に地区の避難所としての機能も持つ貴重な施設と考える。

意見 EBPM(根拠に基づいた政策立案)の基本は住民の意見であるということ忘れずにやってほしい。

その他の質疑

- ・原町日赤補助金の内訳を
- ・バスタ東吾妻(仮称)のコンサルの選定条件と選定方法は
- ・地域おこし協力隊員(新規)の役割は 他

高橋 弘 委員

◆農業振興に力を

問 当町の農用地面積は1216ヘクタールあり、農業従事者の高齢化等で維持管理が難しくなっているが、本年度予算は農業振興予算編成になっているか。

副町長 農林業関係の予算では30件要望が出ているが優先順位をつけ緊急性の高いものから予算付けをしている。

◆コンニャク農家への支援は

問 当町の特産物であるコンニャク生玉の販売価格が低迷し再生産価格を下回っているが支援策を考えているか。

農林課長 農業機械の導入に対し認定農業者は30%、一般農業者は20%の補助を行っている。また、昨年度から農作業受委託補助金を上限20万円で補助している。

◆移住・定住事業の充実を

問 人口減少が急速に進行し移住・定住事業の充実が重要になる。町内の地域特性を生かした対策は。

企画課長 お試し住宅は坂上地区に1軒あったが、本年度から原町地区で1軒借りられることになった。

その他の質疑

- ・証明書のコンビニ交付事業
- ・クビアカツヤカミキリ対策業務委託料
- ・中央公民館の図書館機能、学習スペースの充実について

高橋 徳樹 委員

◆東支所経費の節減と有効活用

問 自主財源収入の見通しが厳しい中、予算編成は住民ニーズを的確に把握し、優先順位の高いものに集中することが重要である。同時に支出面で常に費用対効果分析によるコスト削減、効率化が求められる。その一つとして東支所管理経費はこれまで年間2000万円余りが計上されてきたが、施設使用頻度から見て高額

であり固定費見直しが急務と考える。これまで講演会、保健センターなど医療分野等での利用は見られるもののまだ十分ではない。今後は民間企業、NPO等への施設貸出しなどの検討も進めてはいかがか。

総務課長 民間企業などへ



十分な広さの東支所

貸すということも視野に検討はしてはいるがさまざまな課題がある。災害、防災の観点から見て役場本庁の方に支障があった場合にはサブ庁舎としての活用もある。また、あづまケーブルテレビ基地局としてサーバーも入っており、さらに検討し有効活用を図っていきたい。

その他の質疑

- ・温川キャンプ場給水配管工事
- ・アガッタン熊対策について
- ・箱島ホテル第1保護区転落防止柵整備事業 他

小林 光一 委員

◆デマンドタクシー方式へ

問 坂上地区で実施しているデマンドバス方式は利用者が少なく、交通弱者対策になっていない。利用者の利便性を考慮したデマンドタクシー方式に変えるべきではないか。

企画課長 当面はごみステーションのバス停化による停留所を増やし、デマンドバス方式で進めていきたい。ドア

ツードアも含めて検討を進め、実現に向け努力していきたい。

◆アガッタンの安全性は

問 溪谷コースの落石防護網をする前に、今年度も自転車型トロッコの運行が予定されているが、安全性に問題はないか。

まちづくり推進課長 崩落箇所はすでに防止用擁壁を設置しており安全面は確保されている。さらなる安全性確保のため、上部に落石防護網の設置工事を行う。

◆人口減問題は

問 人口減問題は喫緊の課題であるにもかかわらず、今年度の重点事業に入っていないのはなぜか。

企画課長 重点事業は初めての取り組みであり、今後継続する場合には載せるように考えたい。

その他の質疑

- ・EV車の導入について
- ・ふるさと納税を増やす施策を
- ・NHK受信料について
- ・部活動の地域連携・地域移行について

重野 能之 委員

◆庁舎展示コーナーの充実を

問 役場庁舎2階展示コーナー改修の工事請負費の内容は。

総務課長 今の展示スペースを見に、県外からの来訪者もいる。リニューアルによってより多くの方に町の歴史文化を知っていただきたいと考えている。改修内容としては、展示ケースや解説パネル、LED照明、

案内板を用意する予定。



庁舎2階展示コーナー

◆旧東中学校体育館解体工事
問 解体後の跡地の利活用等について聞きたい。

総務課長 現時点では跡地利用についての具体的計画はない。今回の解体は、老

朽化に伴う倒壊の危険性等のリスクの排除など安全面を考慮し行う。

◆中学校体育施設等整備は

問 どのような計画か。

学校教育課長 体育館、武道館、校庭が対象になると考えている。一度に実施できるか現状では不明確だが、令和7年度基本計画、8年度以降詳細設計、工事発注を9年度以降と考えている。

その他の質疑

- ・お試し移住用住宅について

竹淵 博行 委員

◆結婚新生活支援事業は

問 年度予算90万円ということでプラン的に難しいと感じている。もう少し地域の面倒見のいい方を募って積極的に取り組む姿勢が必要ではないか。今回の予算ではその姿勢が感じられないが。

企画課長 地域の面倒見のいい方の力を借り、そのような方とつながりも持ちながら、今後新生活支援に力を注いでいきたい。

佐藤 聡一 議長

◆坂上小学校体育館整備は

問 教室だけが学校ではない。全て安全な環境を作って、子どもたちに教育するのが大切という意見を住民からも聞いている。教育環境を整えるため、体育館の整備は進めてもらいたいが。
学校教育課長 重点事業と位置付けており、本来あるべき教育施設での教育の提供ということで進めたい。

◆6年度補正予算都市交流促進事業の減額について

問 私の調査したところ、担当課としては、計画のとおり取り組みをしたが難しい局面があり実行に至らなかったと承知している。この予算は杉並区との交流を推進するために必要だと思うが、新年度予算に全く反映されていないのはなぜか。
企画課長 令和6年度の事業についてはコニファーいわびつを利用された杉並区民の方に商品券等をお渡し

する事業を進めていたが、調整がつかなかったため、減額したものである。今後も交流人口の増加と地域の消費拡大とも合わせながら検討を続けていく。

その他の質疑

- ・富永一朗漫画廊について
- ・持続可能なバス路線再編への計画推進について
- ・木材の流通促進事業
- ・移動販売奨励金について
- ・キャンプ場管理運営について
- ・中学の部活動の地域移行
- ・学校施設整備の基本計画
- ・図書の除却について 他

◆ふるさと納税は

問 大事な自主財源なので、もっと増やす創意工夫が必要ではないか。

企画課長 人気のある体験型など返礼品の追加に今後も努力する。

◆移住定住対策は

問 群馬県が移住の一番人気になり、中之条町では実績を上げている。隣同士で魅力に差はないと思っている。移住相談業務委託は、もう少し予算を付けて町も

努力すべきでは。

企画課長 今後も積極的に町の魅力発信をしている移住コーディネーターの力を借りながら、町もタッグを組み進めていきたい。

その他の質疑

- ・婚活事業
- ・妊婦宿泊支援補助金
- ・いわびつ体験農園事業
- ・大阪万博ドームシアター上映料
- ・空家除却費補助金
- ・災害用備品購入費
- ・中央公民館耐震工事

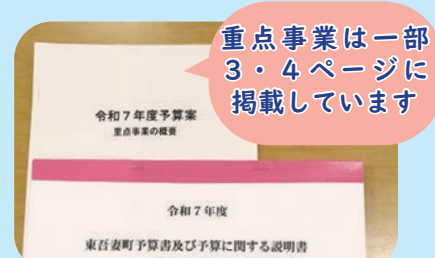
里見武男委員長

予算決算特別委員会総括

令和7年第1回定例会で当委員会に付託された議案第1号「令和7年度東吾妻町一般会計予算」について慎重審査しました。予算総額は前年度比+3.2%増の91億9500万円です。

審査に当たっては本会議において担当課長より予算内容の説明を受けました。

今回の審査では各課でまとめた「令和7年度予算案重点事業の概要」の冊子により、目的・内容・対象物・期待される成果・今後の見通し等の説明を受け、大変分かりやすく予算書全般とともに審査を行いました。



重点事業は一部3・4ページに掲載しています

各委員からは活発な質疑が行われました。委員会では質疑終了後、「令和7年度東吾妻町一般会計予算」採決の結果、委員全員の賛成により議決すべきものと決しました。

執行部におかれましては、審査の過程で各委員より出された質疑や意見について十分に意を用いられ、事務の執行に当たられるよう要望します。





町のルール
ちょこっと変わりました

温川キャンプ場 料金改定

東吾妻町温川キャンプ場使用料条例の一部を改正する条例が可決され、入場料金が変更になりました。また、老朽化により使用されていない常設テントが廃止されました。

【入場料】

6人未満	1,500円
6人以上10人未満	2,000円
10人以上20人未満	3,000円
20人以上30人未満	4,000円
30人以上40人未満	5,000円
40人以上50人未満	6,000円
50人以上	10,000円



温川キャンプ場

損害賠償の額を定めること

追認議案を可決

内容：損害賠償の額の決定については、その金額の大小に関わらず、議会の議決が必要と地方自治法に定められています。しかしながら、損害賠償金額の決定について議会の議決を経っていない案件があったため、過去5年間の13件について、改めて議会の承認を得るための追認議案が提案され、可決されました。



グレーチングの变形

条例・その他

22議案・発委1案全会一致で可決

あづま森林公園キャンプ場 フリーサイトとして利用可能に

東吾妻町あづま森林公園キャンプ場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例が可決され、令和6年度に解体したバンガローの跡地がフリーサイトとして設置されます。

フリーサイトの使用料は、1区画1泊・日帰り共に2500円(町民の利用は2000円)となります。また、老朽化し使用されていないテニスコートが廃止されました。



フリーサイト予定地

質疑

里見武男議員 5年間で13件の損害賠償の事件が発生しているが、グレーチングの飛び跳ねが多く、これが自然現象とすると今後も続いていくと思う。建設課だけの調査では難しく、今後も増える一方だと思うので行政区の力もお借りしたらどうか。

総務課長 道路維持管理等は建設課で日常点検や維持補修を行っているが、予期せぬことが起こりえるので、提案のとおり、行政区からの通報や、来年度から公式LINE事業等も導入していくので、写真付きで通報していただいて活用していきたいと考える。



このような状態がありましたら役場へご連絡お願いいたします。

いわびつ体験農園廃止

東吾妻町いわびつ体験農園設置及び管理に関する条例を廃止する条例が可決され、最近の利用状況も鑑み、いわびつ体験農園が廃止されました。



老朽化した案内図

中小企業者も利用可能に

東吾妻町企業立地促進条例の一部を改正する条例が可決され、奨励金の交付限度額が改正されました。

事業所の新設 → 1000万円

増設および移転 → 500万円

また、増設および移転に係る指定条件(投下固定資産額)が引き下がり、小規模事業者も利用しやすくなります。

(改正前) (改正後)
2000万円 → 1000万円

【条例・その他の議案】

東吾妻町職員の給与に関する条例及び東吾妻町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例／東吾妻町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び東吾妻町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例／東吾妻町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例(3件一括提案)→令和6年人事院勧告と併せて勧告がなされた、社会と公務の変化に応じた「給与制度のアップデート」を受けた職員の給与・処遇等の改定、および上位法の改正に伴う条項の追加と附則の改正を行うもの

東吾妻町職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例→刑法等の一部を改正する法律により、拘禁刑が創設されたことに伴う町の諸条例の改正

東吾妻町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例→マイナンバーカードと保険証情報等の紐づけに伴い、町で保有している保険証情報等を福祉医療事務と連携できるようにするための改正

東吾妻町豊かな自然環境の保全及び利用の手続等に関する条例の一部を改正する条例→「宅地造成及び特定盛土等規制法」の施行に伴い、開発行為に対する審査の適用範囲を改めるもの

東吾妻町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例→中小企業等の経営環境が依然として厳しい状況下において、小口資金の返済負担の軽減を図るため、制度の1年間の延長を行うもの

東吾妻町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例→生活衛生等関係行政の機能強化を目的にした水道法を含む関係法令の改正等により、布設工事監督者および水道技術管理者の資格要件の見直しが行われることに伴う一部改正

東吾妻町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例→家庭的保育事業等での食事の提供方法に関する運営要件として、栄養士の他に管理栄養士を配置した場合でも、運営要件を満たすことを可能とするもの

東吾妻町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例→関係法令の引用条項の誤りを見直すほか、参酌すべき国の基準を反映するもの

東吾妻町保育の必要性の認定基準等を定める条例の一部を改正する条例→育児休業中における、教育保育施設を利用する就学前の子ども利用継続の取り扱いについて、子育て支援への配慮的な観点から、方針を変更していくために、保育の必要性の認定基準を改正するもの

東吾妻町学校基本財産積立条例の一部を改正する条例→学校基本財産積立金を有効活用するため、積立金の処分方法を設定するもの

東吾妻町立学校給食費徴収条例の一部を改正する条例→物価高騰等による賄材料費価格への影響に対応するため、教職員などの給食費の日額を改定するもの

東吾妻町特別職の職員で非常勤のもの及び各種委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例→令和6年度より地域学校協働活動を始めるにあたり要綱で謝金として支払うため、地域学校協働活動推進員の報酬を削除するもの

損害賠償の額を定めること→群馬県市町村公平委員会による「不利益処分についての審査請求に係る裁決結果」に基づく、未払い給料に伴う遅延利息額を定めることについて、議決を求めるもの

町道路線の廃止・認定(2件一括提案)→県道植栗伊勢線 道路改良事業と坂上地区 町道見直しにより、54路線を廃止し、主に農道、林道、法定外公共物に変更し、4路線を新たに認定するもの

東吾妻町議会が保有する個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例(委員会発委)→「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の改正に対応するとともに、所要の規定の整備のための一部改正するもの

令和6年度の総括：補正予算

全会一致で可決

▼令和6年度補正予算一覧

一般会計補正予算（第7号）
や各特別会計は、事業の確定
見込みによる減額のほか、主
な追加分は以下のとおりです。

会 計 名	補 正 額	予算総額
一 般 会 計（ 第 7 号 ）	▲2億7570万円	91億4589万円
国民健康保険特別会計（事業勘定）	2441万円	15億8590万円
国民健康保険特別会計（施設勘定）	1161万円	7011万円
後期高齢者医療特別会計	410万円	2億6330万円

【追加分】

- ・ 情報通信事業 3000万円
- ・ 障害児者総合支援事業 2935万円
- ・ 子育て支援費 100万円
- ・ 治山事業 496万円

簡易水道事業会計補正予算（第1号）は、資本
的収入、支出をそれぞれ200万円追加し、資本的
収入3億1820万円、資本的支出3億1723万
としました。また、老朽管布設替事業のための企業
債の限度額を次のように改めました。
（補正前）3580万円→（補正後）3780万円

▼令和7年度に繰り越すことが決まった事業

事 業 名	金 額
さかうえ拠点バス停整備事業	430万円
東吾妻町乗合バス補助金交付事業（車両購入費補助）	900万円
情報通信事業	3711万円
定住促進事業住宅取得奨励補助金交付事業	730万円
東吾妻町社会教育施設個別施設計画改定支援業務委託	330万円
道の駅西側駐車場整備事業	910万円
医療・介護・福祉施設等物価高騰対策支援給付金支給事業	2119万円
低所得世帯支援給付金支給事業 （令和6年度住民税非課税世帯）	4855万円
低所得世帯支援給付金支給事業 （令和6年度こども加算）	200万円
物価高騰対策子育て支援給付金支給事業	2537万円
住宅用再エネシステム設置費補助金交付事業	197万円
東吾妻町農林水産業者物価高騰対策支援金給付事業	900万円
県単小規模土地改良事業	4314万円
住宅新築改修等補助金交付事業	263万円
町道1126号線道路改良事業	880万円
東吾妻町学校施設等個別施設計画改定支援業務委託	572万円
東吾妻中学校3・4階窓修繕工事	129万円
教師用教科書・指導書・教材購入	439万円
血圧脈波検査装置購入事業	400万円



全会一致で
同意

【人事案件】 東吾妻町農業委員 の任命に同意

任期満了に伴い次期農業委員
の任命に同意しました。
任期は令和10年3月31
日までの3年間です。

- 飯塚 克昌さん（箱島）
- 茂木美代子さん（植栗）
- 中井 毅彦さん（本宿）
- 剣持 敏信さん（岩井）
- 高橋 久雄さん（三島）
- 小宮 拓也さん（厚田）
- 加邊 武彦さん（大柏木）
- 谷 俊孝さん（岡崎）
- 佐藤 香澄さん（奥田）
- 小林 正幸さん（原町）
- 加藤 葉子さん（五町田）
- 住家 明正さん（原町）

表 彰

地方自治の発展に貢献した功労者
として、里見武男議員と重野能之議
員が群馬県町村議会議長会長から自
治功労者表彰（議員10年表彰）を
受け、第1回定例会初日（3月4日）
に佐藤議長から伝達が行われました。



里見武男議員



重野能之議員

第1回臨時会

令和7年1月29日

物価高騰から暮らしを守る
緊急対策で福祉農業支援



全会一致で可決

令和6年度補正予算

一般会計補正予算（第6号）は、歳入歳出
それぞれ1億646万円を追加し、総額を9
4億2159万円としました。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

福 祉

低所得世帯支援給付金支給事業として、住
民税非課税世帯に3万円を支給するほか、1
8歳以下の子どもがいる世帯に2万円が加算
されます。

また、物価高騰の影響を価格転嫁できない
医療・介護・福祉施設等へ2119万円が支
給されるほか、物価高騰対策子育て支援給付
金支給事業として、子育て世帯（18歳以下）
に1人あたり2万円が支給されます。

農 業

農業者等支援金給付事業として、町内に住
所を有する農林水産業者に対し、経費の10
分の1を乗じた額、5万円を上限として給付
するものです。

質疑

竹淵博行議員 価格転嫁できない医療・介護
等の事業者を支給するのは国がやることで
あって、町が独自で支援するのは町内の中小
事業者にするべきではないか。

町長 吾妻郡のような医療が最大の課題の地
域では、医療を支援することで、また従事者
が住民のために医療を施していただくことに
なるとい、施設等に支援したいと考える。

竹淵博行議員 支払い等を申告している農業
事業者がいると思うが、その経費の10分の
1で最高額5万円を給付するという解釈でよ
いか。

農林課長 経費については収支内訳書の租税
公課費を除いた分を見込んでいる。



自然豊かな田園風景



一般質問は
こちらから

町政を問う！

今定例会では4名が登壇しました。

- P15 渡 一美議員「産婦人科オンラインの導入を」
P16 井上日出来議員「業務効率化に生成AIの活用を」
P17 高橋 徳樹議員「人口減少に対応できる町づくりを」
P18 齋藤 貴史議員「教科書、『紙』にこだわりませんか」

一般質問とは

定例会において議員が行政全般にわたり町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、報告・説明を求めることです。

一般質問は通告書に基づいて行われます。

定例会・臨時会の会議録は、東吾妻町議会のホームページでもご覧いただけます。一般質問等の質疑応答は編集してあります。

本会議中の正確なやり取りについては、東吾妻町議会ホームページの会議録（6月中に掲載予定）をご覧ください。



皆さんの声を町政に！ 水仙ちゃんが陳情の仕方をご紹介します

議会は、町政に対する意見や要望を陳情や請願として受け付けています。受付締め切りは、年4回（3月・6月・9月・12月）の定例会前の議会運営委員会前日です。議会事務局に持参または郵送で提出してください。



陳情書の書き方

- ①提出年月日
- ②東吾妻町議会議長宛
- ③陳情書の表題
- ④陳情者の郵便番号、住所、氏名（署名または記名押印）電話番号
- ⑤陳情の趣旨
- ⑥陳情の理由

*東吾妻町議会議員の紹介がある場合は、陳情ではなく請願になります。紹介議員の署名または記名押印を追加し、「陳情」を「請願」にしてください。

*定例会終了後、審議結果（採択、不採択など）を陳情者に通知します。

令和7年5月1日
東吾妻町議会 ○○議長 様
水仙ちゃんとお泊まりキャンペーン
企画実施の陳情書
377-0801
東吾妻町大字原町1046
水仙ちゃん
68-2111

（趣旨）水仙ちゃんとお泊まりキャンペーンの企画を要望します。
（理由）東吾妻町のPRのためにがんばっている水仙ちゃんと一緒に泊まりたいちびっ子の夢を叶えるため、町の宿泊施設に水仙ちゃんと泊まれるキャンペーンを企画し、町のPRを活性化させたい。

*この陳情書は参考例です。

Question

産婦人科オンラインの導入を

Answer

小児科と併せて検討する



わたる ひとみ
渡 一美 議員

問 保育料（3歳未満児）の無償化について、町の考えは。

町長 出産から幼児期までの切れ目のない支援を行い、子どもたちが元気に成長できる環境を整えている。当面の負担を維持しつつ、保護者の理解を求めていく。

問 現在、保育所の3歳未満児の利用人数は。

町長 保育所の利用人数は50人。このうち無償化対象を除き33人が年間で約700万円の保育料を負担している。

問 保育料無償化の可能性

についてはどうか。

町長 保育所を利用していない家庭との不公平感や、利用希望の急増、保育人材の確保などの課題があり懸念される。

問 保育所や学校の支援だけでなく、子育て世帯全体のサポートが必要ではないか。

町長 児童虐待防止をはじめとした子育てに係る一体的な相談支援体制の構築・充実を図るため、令和8年度をめどに、母子保健機能と児童福祉機能の一体的な運営を行う「こども家庭センター（仮称）」の設置を予定。子

どもの良質な育成環境を整備するための「こども誰でも通園制度」も予定している。

問 児童生徒の減少に伴い、小学校統合問題など教育環境を確保するために、特に小規模校の特色を生かす取り組みは。

教育長 町内の小学校は小規模校として、柔軟できめ細かい指導を実施している。一定規模の児童集団と教職員配置が重要と考えており、今後は総合教育会議で学校の在り方を検討していく。

問 「産婦人科オンライン」の導入を。無料オンラインで気軽に相談できる体制を整えることが、住民の安心につながるかと考える。DXの進展に合わせ、このようなサービスの導入も視野に入れては。

町長 オンライン相談は、自宅から医師や助産師に気軽に相談でき、24時間対応も可能。産婦人科に加え、小児科の相談についても必要性・利便性が高いと考える。今後、導入について検討する。

オンライン診療

サービスはすべて無料

産婦人科医・助産師に気軽に相談

妊娠中～産後はもちろん
すべての女性の悩みにこたえます



井上日出来議員

Question

業務効率化に生成AIの活用を

Answer

研究し業務改善に役立てたい

町のDX推進状況

問 令和6年度のDX（デジタル・トランスフォーメーション）の進捗状況は。

町長 電子申請システム「LoGoフォーム」によるイベント申し込み、給付金申請、アンケート、パブリックコメント等が活用されている。また定額減税補足給付金の電子申請には798件の利用があった。また音声ファイル文字起こしシステムを議事録作成に活用し効率化が図られている。

問 令和7年度のDX推進の計画は。

町長 町「公式LINE」を導入し、情報提供の迅速化

を図りつつ、問い合わせ機能にも対応を検討している。同時に「住民向けスマートフォン教室」など実施し、デジタル格差の解消を図っていく。

問 政府公開データやビッグデータの活用、AI活用についての調査・研究は。

町長 ビッグデータを含め積極的な活用を図っていく。

問 DX推進における職員の労働条件やワークライフバランスの向上は。

町長 業務プロセスの効率化と変革により職員が付加価値の高い業務に注力できる環境を整備し、職員の資質と行政サービスの質を高めたい。

問 生成AIやICT専門

職の人材採用やチーム設置を検討してはどうか。

町長 町のDX推進本部にワーキンググループを設置した。複数の課にまたがる事業には必要に応じ「タスクフォース」を設置することで施策に取り組んでいる。必要に応じて外部専門家の知見を活用し、業務委託なども視野に入れ、町の実情に即した体制整備を進めたい。

町職員の新たな研修内容

問 群馬県は新人研修に動画編集を取り入れ、職員自らが情報発信の担い手となっている。当町も情報発信ツールの職員研修をしてはどうか。

町長 限られた人員体制で対応することは容易でないが、適材適所で職員のスキルアップを図りたい。

タスクフォースとは

組織内部で緊急性の高い課題の解決や、企画の開発などを行うために一時的に構成された組織のこと。

生成AIに尋ねた地方自治体のAI活用事例

1 住民サービス

- ① 防災情報の提供
- ② 住民からの問い合わせ対応
- ③ 住民ニーズの収集
- ④ 多言語対応
- ⑤ 防災訓練や地域活動のサポート

2 業務効率化

- ① 行政文書の作成支援
- ② データ分析
- ③ スケジュール管理
- ④ 広報活動の支援

3 地域課題解決

- ① 医療福祉分野のサポート
- ② 教育支援(活動プランなど)
- ③ 観光振興(PRや分析)
- ④ 交通計画の最適化
- ⑤ 空き家・空地対策

4 その他

- ① 住民参画の促進
- ② 予算編成のサポート
- ③ 地域課題に特化したAI開発 等

調査：井上日出来

生成AIの活用事例

Question

人口減少に対応できる町づくりを

Answer

民間事業者法人創設を模索していきたい



高橋徳樹議員

二地域居住で定住者増を

問 昨年11月、国より都市と地方などの生活拠点を持つ「二地域居住」を促進する事業がまとめられた。内容はこれまでの交流、観光での関わりとなる関係人口という概念から一歩進んで将来的には官民が一体となって定住人口増につなげていこうというもので、当町でも推進すべきと考えるが。

町長 「二地域居住」促進は生活基盤を完全に移す移住よりハードルが低く、リモートワークが普及したことにより、実現可能なライフスタイルと言える。当町は自然環境の豊かさや災害の少なさ、首都圏からそれほど遠くない所にあり、その拠点として十分応えられる。今後、「住まい」「なりわい」「コミュニティ」を提供する活動に取り組む法人の創設に向けて関係団体や事業者等の連携を検討、模索していきたい。

問 人口減少に対応する定住・移住支援策の現状、進捗状況を伺う。

町長 若い世代の方たちが住みやすい町を目指し子育て支援や教育体制の充実等さまざまな事業展開を行っている。移住施策はお試し体験住宅、空き家バンク、住宅改修等の補助事業を実施。お試し体験住宅は新年度より原町地区で新たな空き物件活用を計画している。

空き地にコンテナホテルを

問 旧役場跡地および旧岩島第二小学校跡地活用を伺う。

町長 新年度も継続して「トライアル・サウンディング」を行い、県からまちづく

りのアドバイザーを招き、地域活性化などの研修や助言を受けながら進めたい。旧岩島第二小学校は民間事業者のニーズやアイデアを募集し利活用を図りたい。

問 今後、観光客やビジネス客も見込まれる中で、当町では宿泊施設の不足が以前から指摘されている。そこで空き地に最近注目されているコンテナを用いた宿泊施設および災害対策利用も視野に設置を検討されてはどうか。

町長 提案の宿泊施設も含め、今後、住民にとって有益な跡地利用を目指したい。



都市部のコンテナホテル

一般質問

さいとう たかし
齋藤貴史議員

Question

教科書、『紙』にこだわriませんか

Answer

紙とデジタル、利点を組み合わせる

世界は脱デジタル教育

国際的にはデジタル教育は大きく変わろうとしている。

IT先進国スウェーデンでは、「脱デジタル教育」へかじを切る。紙の教科書の読解と鉛筆筆記こそが、深い学びに通ずると示されている。世界では1周回って「脱デジタル」が最先端。同国では、紙の教科書の再普及を図る。

教育で移住促進を

デジタル教育はプログラミングやデジタルクリエイティブに特化する一方、脱デジタルも進めることで、質の高い教育につながるのではない。教育の差別化による「若い世代の移住促進策」という観点から執行部の考えを問う。

問 IT先進国では、デジタル教科書から紙の教科書へと脱デジタルが進む。この動きを把握しているか。

教育長 IT先進国でデジタルに偏った教育をデジタ

ル端末を効果的な場面で活用する方向に見直していることは承知している。

問 教育のデジタル化が学力低下を招いているという調査はないか。

教育長 文科省主管の調査結果として、記憶・学力への影響を、紙の教科書とデジタル教科書では同程度と示している。

問 「紙」の学習効果が見直されていることへの考えは。

教育長 有識者の見解では、デジタルに偏ることに懸念する声があり、「紙」の効果に関する意見もある。

問 デジタル教育で読解力や集中力、応用力、考える力

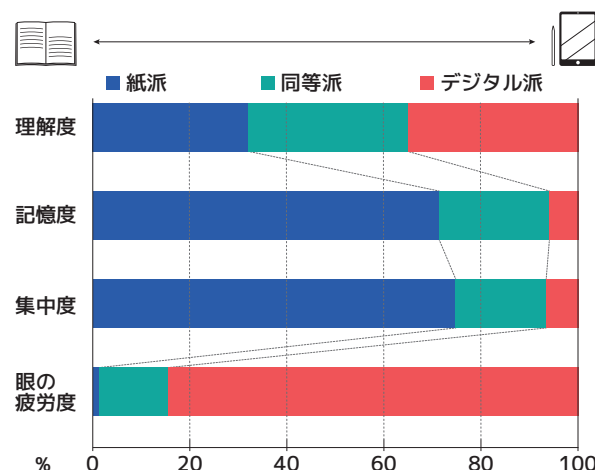
が伸びたという報告はあるか。

教育長 学習記録のデータ化、コミュニケーションを図るツールなど、デジタル技術を効果的に活用している。一方「考える力」や「書く力」が低下する懸念、心身両面での健康問題も存在する。課題を解消していく取り組みが必要。

問 教育は「子育て世代」を呼び込む引力を持つ。特別な教育環境を創っていけないか。

教育長 ICT教育の過渡期において、学校現場の考え方、児童生徒の発達過程や実態などを踏まえ、紙とデジタ

ルを適切に組み合わせ、両方の利点を取り入れていくことが重要と考える。



富山大学の2022年調査の結果
大学生約340人を対象に調査

常任委員会の活動

議会では、各委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

総務建設常任委員会



ごみステーション

ごみステーションのバス停化へ

定例会中の委員会では、所管事務調査のほか、付託されました、令和7年度地域開発事業、上下水道事業、簡易水道事業の審査を行い、可決すべきものと決しました。また、町所有の遊休資産の解体、利活用、自転車型トロック「アガッタン」の指定管理者制度、水道事業の広域連携化等について、意見交換が行われました。

今回の委員会
注目3事業!!

デマンドバス全町へ

デマンドバス区域を全町に拡大し、令和9年度をめどに町内各所の700カ所あるごみステーションを停留所化するため、AIを活用した運行を進めていきたいとの報告があった。

DXの推進

令和7年度予算の重点事業の概要について、事業費や事業実施に至った経緯等説明があった。また、公民館等の使用について、オンライン予約にも対応できるよう意見が出された。

吾妻警察署移転

吾妻警察署が令和9年度完成に向け事業を進めていきたいとのことで、用地面積6000㎡、延床面積2600㎡、3階建ての建物を建設するとの報告があった。

文教厚生常任委員会

包括的な子育て支援を

定例会中の委員会では、所管事務調査のほか、付託されました、令和7年度東吾妻町国民健康保険特別会計予算をはじめ、同後期高齢者医療特別会計予算、介護保険特別会計予算の審査を中心に行いました。慎重審査の結果、可決すべきものと決しました。



岩島小学校卒業式

こども家庭センター(仮称)

包括的な子育て家庭支援体制構築のために、国の方針に基づいて設置されるこども家庭センター(仮称)は、令和8年度からの開設に向け新年度から準備が進むとのこと。

給食調理部門の委託

業者の募集を行ったところ、応募があり、3月中に業者の優先交渉権者を定める旨の説明があった。本契約の具体的な時期は現状未定とのこと。

新ごみ処理施設整備

令和12年度に大柏木に開設予定の新ごみ処理施設について提言書が示され、住民への情報提供および丁寧に協議を重ねるプロセスの重要性などについて指摘があった。

今回の委員会
注目3事業!!

特別委員会の活動

ワーキンググループ活動報告 ～予算決算特別委員会

去る3月10日および3月11日に予算決算特別委員会を開催し、当委員会に付託されました「令和7年度東吾妻町一般会計予算」の審査を実施し、委員全員の賛成で可決致しました。

その後、ワーキンググループのリーダーが活動報告を行いました。これまでに昨年の6月から3グループで9件の課題が出されたので、これを基に6月の第2回定例会以降の予算決算特別委員会で次年度の予算に提言等に反映できるか協議していきます。

グループA
齋藤貴史
佐藤聡一
高橋徳樹
里見武男
ふるさと納税について

自主財源を作るほぼ唯一の手段だが、令和5年度実績が、寄付額2301万2千円。県内30位で、同規模の自治体では県下最下位レベルにある。

コロナ禍にオリジナル商品を開発したサンワ株式会社群馬工場（川戸）を訪問し、開発の経緯、販売状況を伺い、同社を含めた町内企業との商品開発の可能性について意見交換を行った。その過程で、目標設定の重要性、庁内外によるチームで取り組む必要性を共通認識とした。

また、意見するだけでなく、実際に商品拡大の橋渡しを模索。いくつかの企画では、関係機関の許可が簡単には得られず、即断念に追い込まれることも。それでも、意見出しの中から、実際にいくつかの体験商品について登録実現の可能性があるという結果が得られ、担当課につなぐことができた。今後の商品化が待たれる。

グループB
重野能之
増子京子
渡一美
小林光一
交通弱者対策について

当町の現状と課題

人口減少や働き手不足に伴い、地方では交通手段の確保に多くの課題が浮上している。特に免許証を持たない高齢者、障害者や若年層はいわゆる交通弱者とも言われ、対策が急務となっており、当町では現在、地域公共交通活性化協議会が設置されている。坂上地区では、令和3年よりスクールバスと連携したデマンド型区域運行が実施され、また、令和7年4月からは町内路線バス運賃が路線内200円に均一されるなど、新たな試みが始まっている。

令和9年度からの新計画と併せデマンドバス型運行を全町に拡大する予定とのことである。今後は、乗り合いタクシー、ライドシェア等の多様な送迎サービスのニーズが高まることが予想される。

グループC
竹濑博行
井上日出来
高橋弘
具体的な温川キャンプ場利用促進計画（案）について

まず、温川キャンプ場の沿革や、条例などを調査した。沿革では、昭和55年板橋区より、キャンプ場関係物品等譲渡を受け、現在までにトイレ新設、バンガロー7棟、水槽、駐車場整備等経て現在に至る。

条例では、「設置及び管理に関する条例」、「管理運営規則」、「使用料条例」など調査。

2月18日現地視察を行い現状確認および問題点など意見交換を行った。自然を生かしたこのキャンプ場の再生を考え、図面（ポンチ絵）に表現することにした。エリアごとに

区分し、オートキャンプ場エリア・テントエリア・釣り場エリア・みんなの広場エリア・バンガローエリア・自由広場エリアと6エリアとした。温川キャンプ場利用促進計画（案）を担当課に提出し参考にさせていただくよう求めた。

議会のDX化に向け始動 ～議会運営委員会

現在、タブレットを活用した会議システムの導入を検討しており、2月には複数の業者によるデモを実施しました。また、委員会のオンライン開催についても、より安全で使いやすいZ o o mを活用する方向でマニュアルを整備しました。さらに、次年度の「中学生議会」開催に向けて、新学期に学校へ協力の依頼をし準備を進めていきます。町民の皆さんに開かれた、分かりやすい議会運営を心掛けていきます。

引き続き読みやすい紙面を ～議会広報特別委員会

第1回定例会中の3月12日に委員会を開催し、第77号の編集の役割分担について協議をしました。

第1回の臨時会と第1回定例会の質疑等を主に取り上げていき、特集として令和7年度一般会計予算の質疑内容について活発な質疑が出ましたが、ページ数に限りがあり、各議員が自ら選んだ質疑について掲載することになりました。

第77号議会だよりの編集で現メンバーでの委員会は最後になりますが、ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。次号からは新しいメンバーによる議会広報の編集発行を

担います。引き続き読みやすく、分かりやすい議会だよりを目指して編集していきますので新メンバーによる編集をご期待ください。ご愛読ありがとうございました。

現在進行形の課題を協議 〈議員全員協議会〉

定例会中の議員全員協議会で協議された内容は以下のとおりです。

- (1)遊休資産利活用事業の進捗状況について
- (2)吾妻峡温泉天狗の湯及びあづま温泉桔梗館の使用料見直しについて
- (3)自転車型トロツコ「アガッタン」への指定管理者制度導入について
- (4)吾妻郡一般廃棄物処理施設の現況について
- (5)役場旧庁舎跡地トライアル・サウンディングについて

「議会だより」の表紙の写真を募集します!

「議会だより」の表紙に掲載する町の「風景」や「行事」などの写真を募集しています。自然豊かな町の風景や子どもたちの笑顔など表紙を飾る写真を募集中!

次号は8月発行。夏らしい写真を募集します。詳しくは東吾妻町議会ホームページをご覧ください。



「議会だより」アンケート

「議会だより」がリニューアルしてから1年が経過しました。読みやすさに変化はありましたか。「もっとこうしてほしい」「こんな企画が読みたい」など議会だよりへご意見・ご感想をお寄せください。アンケートの回答にご協力をお願いします。

いただいたご意見は議会だよりの編集の参考にするほか、議会だよりに掲載することがあります。





「消防団を退団して」

渡邊 義孝さん（岩井）



渡邊前消防団長



団員募集のポスター

平成10年度から27年間在籍していた消防団を令和6年度末に退団し、最後の3年間は団長を務めさせていただきました。

その間、さまざまな火災、災害、捜索等の出動。また、訓練や予防消防活動も行いました。

入団当初、右も左も分からず先輩方の怖いイメージがあり断れず「やべえところに入っちゃった」と思いました。そんな中、先輩方から指導を受け、訓練や火災現場での活動を取り組んでいるうちに怖いイメージがなくなりました。逆に、面白い方や真面目な方もいざとなれば厳しい場面もあり、時には大変頼りになり、消防活動だけに限らず現在もお付き合いをさせていただいております。

年数を重ね後輩が入団し、役員になると、訓練や出動の際には責任感が増え、活動に対し少しずつ自信を持てるようになりました。また、多くの仲間が増え、仕事もプライベートでも充実し、消防団に入って大変良かったと思います。

消防団の活動は決して派手なものではありませんが、地域の皆さまの安心・安全を支える重要な役割を担っています。しかし、現状の課題として少子高齢化社会からの若者の地元離れにより、消防団の新入団員数減少があります。これはわが町だけに限らず全国的に見られる状況です。特に若者が地元にはいない、残らない状況が続いていて悩んでいるところです。この状況は消防団だけに限らず、地元企業、農家にも同じことが言えると思います。ぜひ、地元若者が少しでも増えるように、町との連携や協力を図り、交付金、補助金、表彰制度等消防団に協力する事業所のメリットを検討し、若者雇用に強い町を目指していただきたいと思います。

そして、私自身、退団後はさまざまな形で地域に貢献できるよう努めてまいります。

長年にわたり共に活動してきた仲間への感謝を胸に刻みつつ、今後の消防団のさらなる発展と皆さまのご活躍をお祈り申し上げます。

議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

次回の定例会は6月4日開会予定

6月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 本会議	5 常委	6 常委	7
8	9 特委	10 全協 特委	11 休会	12 本会議	13 本会議	14
15	16	17	18	19	20	21

*予定ですので、詳しくはお問い合わせください。
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員全員協議会

編集後記

早いもので第77号の編集で2年の任期が終わり、議会広報特別委員会では議会報告会の改革や中学校に議員が出向いた中学生議会、そして新たに「がんばっている人応援し隊」等新しい企画を取り入れて編集に力を注ぎましたが、これからも進化する議会だよりにご期待ください。

（里見 武男）



議会広報特別委員会

委員長 里見 武男 副委員長 井上日出来
委員 齋藤 貴史 委員 増子 京子
委員 渡 一美 委員 高橋 徳樹
委員 重野 能之

